

No.5 キーワード： 無人ヘリ追肥、低価格肥料(尿素)への切替

青森県北津軽郡鶴田町

基本情報

- ・ 気候: 冬期多雪で夏場は県内では比較的気温が高い
- ・ 土質: グライ土
- ・ 従事人数: 2.5人
- ・ 臨時雇用: 250人・日
- ・ 飼料用米の作付開始: H23年産

品目	作付面積	平均区画
主食用米(移植)	3ha	60a
主食用米(直播)	12ha	100a
飼料用米(移植)	16ha	60a



無人ヘリを利用した尿素追肥作業

経営方針(重視・優先していること、こだわり等)

- ・ 水稲単作経営で、転作は飼料用米で対応
- ・ 主食用米は直播栽培(乾田直播)が中心で、飼料用米はすべて移植栽培
- ・ 乾田直播は基肥+追肥2回体系で、移植栽培より追肥量を増加
- ・ 労力軽減のため、追肥作業は委託(無人ヘリ)

稲作の施肥・防除におけるコスト低減の取組

【無人ヘリを利用した尿素追肥による肥料費の低減】

(1) 施肥体系

- ・ 移植栽培は基肥+追肥1回の分施肥体系
- ・ 乾田直播栽培は肥料の流亡が多いため、基肥+追肥2回の分施肥体系

(2) 肥料

- ・ 追肥用肥料を、複合化成肥料から安価な大粒尿素に変更

(3) 散布方法

- ・ 経営面積の拡大により、追肥作業の労力負担が増加したことから、全面積を近隣の業者に作業委託し、無人ヘリで追肥

導入効果

・ 追肥(慣行比)

肥料費 ▲約7割
労働時間 ▲約5割

<追肥1回10a当たり>

・ 尿素的無人ヘリ散布
肥料費 533円
(別途、散布費 334円)
労働時間 6分

・ 慣行(複合化成肥料の動力散布機散布)
肥料費 1950円
労働時間 12分

支援体制

- ・ 地元の先進農家から尿素追肥の情報を収集し、経営全体に導入
- ・ 西北地域県民局重点事業「西北型大規模稲作経営確立のための省力・低コスト技術体系定着事業」で直播栽培等の省力・低コスト技術の導入と定着を支援

課題・今後の目標

- ・ 尿素は窒素成分が高いため、散布ムラに注意が必要
- ・ 主食用米はすべて乾田直播で取り組む意向